



中小企業のクラウド化による 生産性向上の取組

2016.11.14
free 株式会社

佐々木大輔 sasaki@freee.co.jp
木村康宏 ykimura@freee.co.jp

本資料の構成



- freeeのご紹介
- クラウド活用事例とその効果
- クラウド活用促進に向けて

参考

- freeeの掲げる3つのコンセプト
- クラウド活用の定量的効果

freeeのご紹介



スモールビジネスに携わるすべての人が 創造的な活動にフォーカスできるよう

夢を持って起業や独立をしても、経理などの面倒なバックオフィス業務に追われることが多いのが現実。
だからこそ free は、スモールビジネスに携わる誰もがより本業にフォーカスできる社会を実現します。

設立 2012年7月

資本金 62億5619万円 (資本準備金等含む)

代表者 佐々木 大輔

従業員 約250名(2016年10月現在)

主要株主 DCM,リクルート

Pavilion capital ,SBIインベストメント

<https://www.freee.co.jp/>



GOOD DESIGN
AWARD 2015
**BEST
100**



2015年度グッドデザイン賞
「未来づくりデザイン賞」

2016年「働きがいのある会社」
従業員～999人規模 ランキング4位



GOOD DESIGN AWARD
2013年度受賞

ビジネスの開始から、運営、 そして成長までをサポートする free



☆ はじめる



会社設立 free

(2015年6月リリース)

開業 free

(2016年10月リリース)

5分: 会社設立用の書類を最短5分で作成

モバイル: スマホ完全対応で、どこでも会社設立

ワンストップ: 実印発注や銀行口座作成もできる

シェアNo.1

🔄 運営する



クラウド会計ソフト free

(2013年3月リリース)

自動: 銀行やカードの口座と連携し、人工知能で会計帳簿を作成

簡単: 簿記の用語を使わない画面設計で簡単に使える

最適化: 請求書発行や経費精算などの業務も最適化

実績: クラウド会計ソフトシェア No.1 で安心の実績

サポート: チャットによる迅速なサポートを提供

決算: 決算や個人事業主の申告まで自動で簡単に

シェアNo.1

↗ 育てる



クラウド給与計算ソフト free

(2014年5月リリース)

簡単: 知識がなくても1クリックで給与計算

勤怠: 勤怠管理も簡単に

オンライン: 給与明細はオンラインで配布

会計連動: 会計ソフトと完全データ連携

政府連携: 行政手続きもオンラインで完結

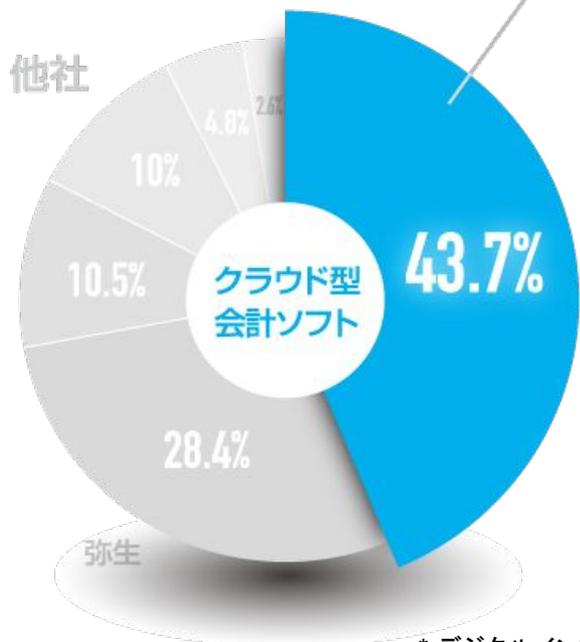
マイナンバー: マイナンバー管理も完全対応



クラウド会計・給与共にトップシェア

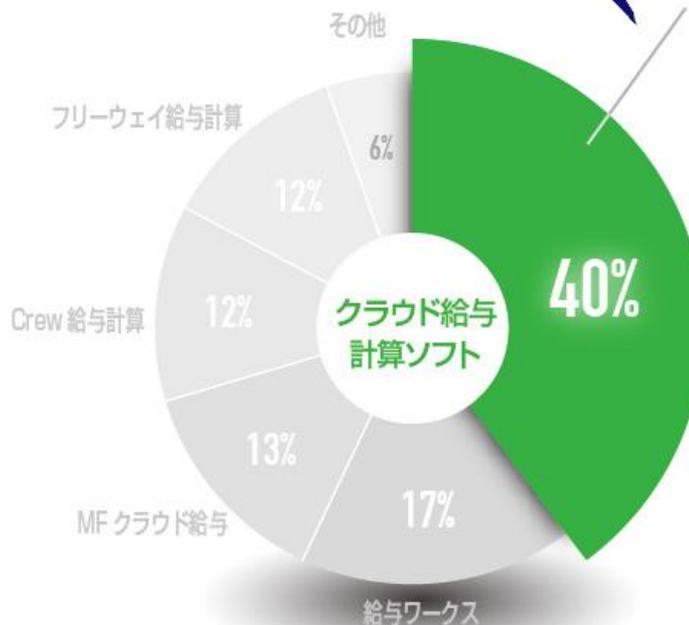


クラウド会計ソフト市場
マーケットシェア*
(法人・個人)



* デジタルインファクト調べ

クラウド給与ソフト市場
マーケットシェア*



*MM総研調べ

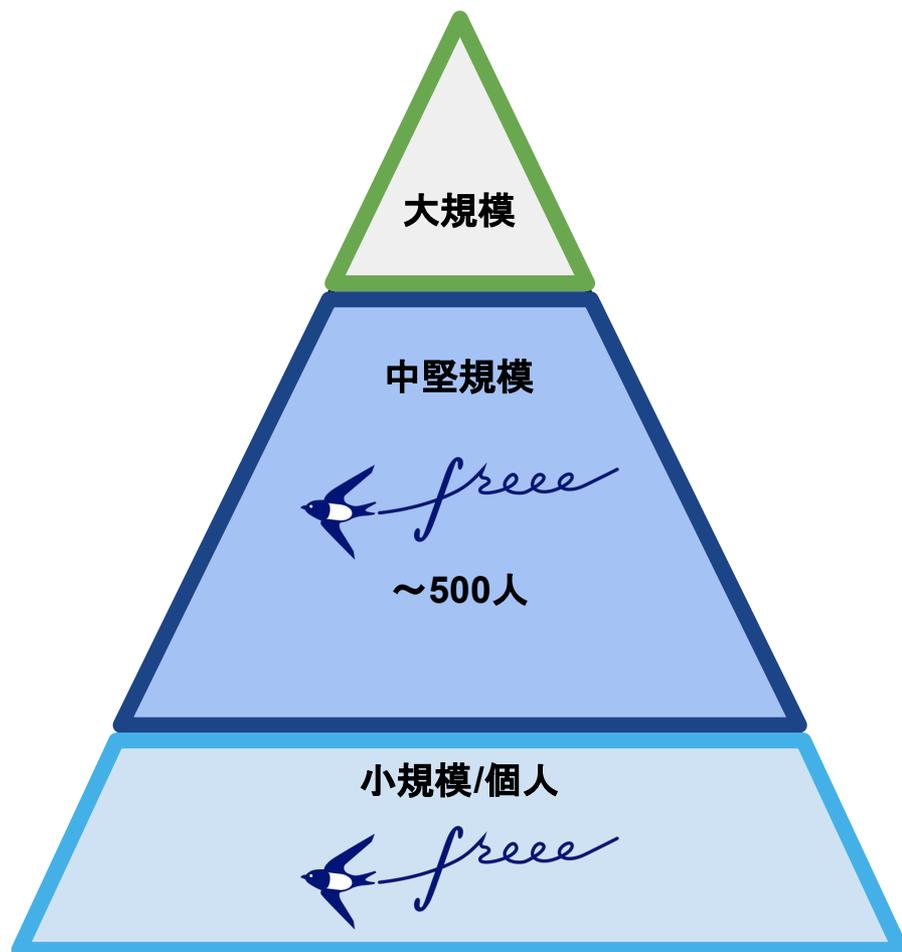
60万事業所突破

10万事業所突破

個人事業主・中小企業の経理を効率化 導入しやすい価格で高付加価値を提供



free の想定顧客層



クラウド会計ソフト free
法人向け料金プラン

ビジネスプラン

3,980円/月(税抜)

経費精算や権限管理等の機能を備えた、法人向けの標準的なプラン

ライトプラン

1,980円/月(税抜)

新設法人等これから経理を始める法人向けのプラン

※ 個人事業主向けプランは980円/月(税抜)～、クラウド給与計算ソフトfree は1,980円/月(税抜)～で提供

クラウド活用事例とその効果

クラウド×タブレットでcafeの経理を効率化



- クラウド売上管理(POS)ソフトと free でデータを自動連携
- 入力の手間一切なしで、日次売上管理がリアルタイムで可能に

最先端カフェ factory



複数クラウドを活用して紙業務廃止



これまでの店舗の経理（近隣の飲食店の場合）



STEP1

一日の売上げデータをレジから出力



STEP2

出力したデータをまとめる



STEP3

1日分を記帳



- 自動化
- 紙削減

外部サービス連携が効率化の鍵



オンラインバンキング/クレカ明細

受取請求読み取り



財務会計
売掛／買掛管理

請求書管理



給与計算



POSレジ



経費精算



EC売上管理



決済代行



電子行政 (eTAX / eLTAX / eGov)

着々と進むfreeの金融連携



- 2016年10月時点で**15の金融機関と連携**
 - API連携による明細データ取得・決済のシームレス化
 - JNBとは、会計データを活用した融資サービスも開始



データを吸い上げ“賢くなる”クラウド



- 人工知能により自動で仕訳作業を実施
実際に導入したエステ店では、当初月間8時間以上かけていた経理作業が、ソフト側の学習により、月1時間程度に短縮

The screenshot displays two transaction entries in a cloud accounting software interface. The first entry is for a DC card transaction on 2013/03/30 with an amount of -3,885. The summary is 'イーモバイル -東京都 港区'. The journal entry shows '通信費' (Communication Fee) as the debit account and 'インターネット関連費' (Internet-related fee) and 'イーモバイル' (E-Mobile) as credit tags. A green arrow points to the 'イーモバイル' tag. A note on the right states: '銀行・クレジットカード口座から自動同期でインポートされた明細に対して勘定科目をfreeが自動で推測' (For details imported automatically from bank and credit card accounts, the account is automatically estimated by free).

The second entry is for a Sanwa Bank transaction on 2013/03/29 with an amount of -7,000. The summary is 'トウキョウデンリョク' (Tokyo Denryo). The journal entry shows '水道光熱費' (Water, Gas, and Electricity Fee) as the debit account and '電気料金' (Electricity Charge) and '東京電力' (Tokyo Electric Power) as credit tags. A note on the right states: '内容を確認して問題なければ、「登録」をクリックするだけ' (After confirming the content, just click '登録' if there are no problems).

* :クラウド会計ソフトの自動仕訳に関する人工知能技術について、特許権(特許第5936284号)を取得済

クラウド活用の特長・効果



簡単・安価

- 従来のIT投資と異なり、最新のクラウドなら簡単・安価にIT化のメリットを享受できる

連携

- クラウド同士 / 政府・金融機関とAPIでつながることで、より大きな生産性向上が見込める

データ活用

- AI時代のクラウドの真価は、蓄積されたデータ活用による自動化・高度化にある

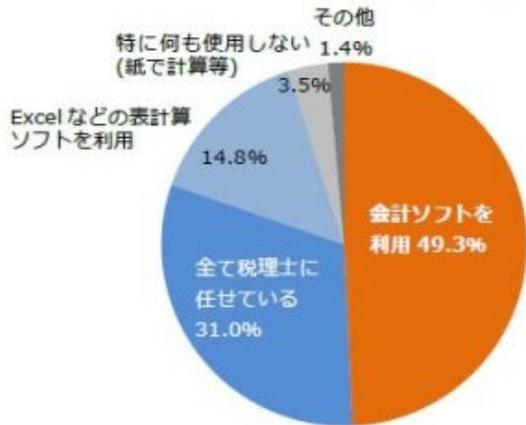
クラウド活用促進に向けて

新設法人では既にクラウドが優勢

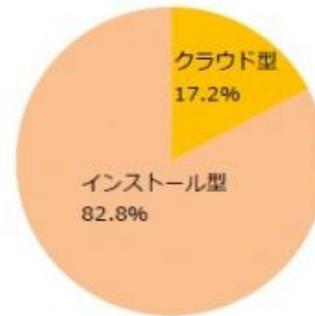


中小法人におけるクラウド会計導入状況調査

会計業務の方法(n=5,015)



会計ソフトの導入形態 (n=2,471)



設立年数別の会計ソフト導入形態



- 既存法人のクラウド化が遅れている
- 低価格化が進む中、ネックは既存業務からの転換

クラウド導入の支援者の付加価値は ITから経営・業務にレイヤーがシフト



会計事務所

認定アドバイザーは **3,000事務所** を突破、クラウド活用で顧問先の業務改革・企業再生を進める事務所も



地域金融機関

freeeは **15の金融機関** と連携
北国銀行は freee を取引先の業務改革 / 事業制評価ツールとして積極導入



創業期のベンチャー企業の会計も、
年商 30 億の中堅企業再生も freee で。

interview by freee

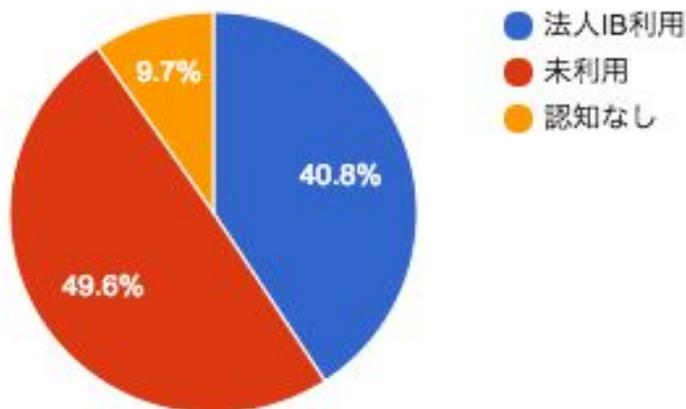
※ 北国新聞より引用

もう一つのネック IB普及率



- 事業用のオンラインバンキングの利用率は、中小法人・個人事業主においては、ほぼ普及していないといっている低い水準
 - 「肌感では法人顧客のIB利用は正直10~15%」(地銀担当者)
 - 電子納付とIBの連携を増やす、オンライン化推進行を事例として称揚する等、政府として後押しできることもあるのではないか

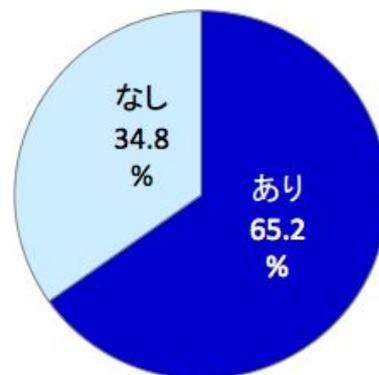
事業用オンラインバンキング 口座利用率



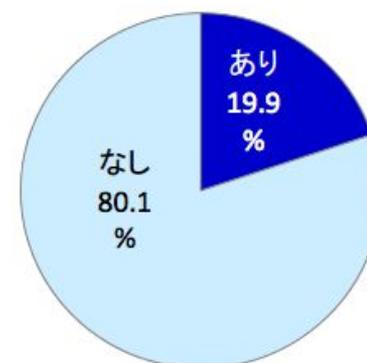
出所) 当社独自Web調査(2016.5)

日銀によるオンラインバンキング 利用率の調査手法別比較

全銀協調査 (インターネット調査)



日銀調査 (郵送調査)



出所) 日銀岩下氏資料から抜粋

クラウド活用のための課題



意識の変革

- クラウド導入のボトルネックは、価格や技術ハードルではなく、既存業務を転換・変革することに、経営者にどうコミットしてもらうか
- 金銭的助成の前に、中小企業周辺の支援者のITリテラシと意識の変革が急務

環境の変革

- クラウド同士の連携は民間で進んでいるが、行政と金融機関と連携するには、レガシーシステムの変革が必要
- API化は勿論必須だが、その前にそもそものオンライン化すらほぼ手付かずの状況を直視すべき

参考: free の掲げる3つのコンセプト

freeが実現したい3つのコンセプト



簡単・自動化

- 非創造的かつ煩雑な作業を簡略化、更には人手を介さない自動化へとつなげることで、本業にフォーカスできる環境を整える

バックオフィス最適化

- 会計ソフトにとどまらず、『中小企業向けERP』として経理業務全体の効率化考えた設計思想で、法人の業務効率化ニーズに応じていく

クラウド完結型社会

- 必要な業務やデータ管理を全てリモートで対応できるクラウドで完結させることで、中小企業の生産性を劇的に改善する

自動化技術(*)は特許取得済



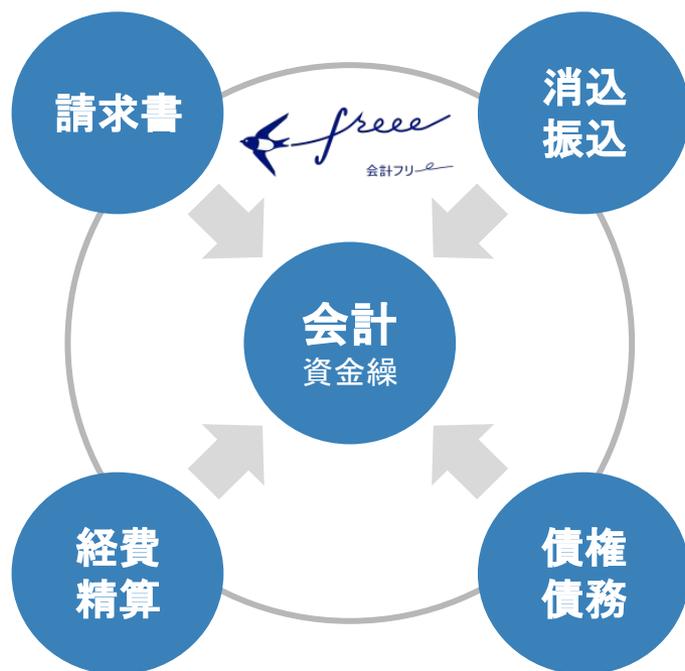
テクノロジーを活用し「記帳」「経理作業」を簡単に効率的に
自動仕訳の技術はクラウド会計で唯一特許を取得



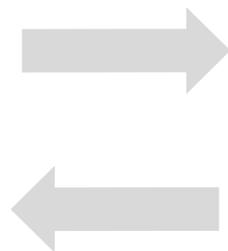
業務と業務をデータでつなぐ バックオフィス最適化



- 従来別々のシステムとして提供されていたバックオフィス機能を統合
- 中小企業向けERPとして経理業務全体の効率化考えた設計思想により、法人の業務効率化ニーズに応える



クラウド会計ソフト freee



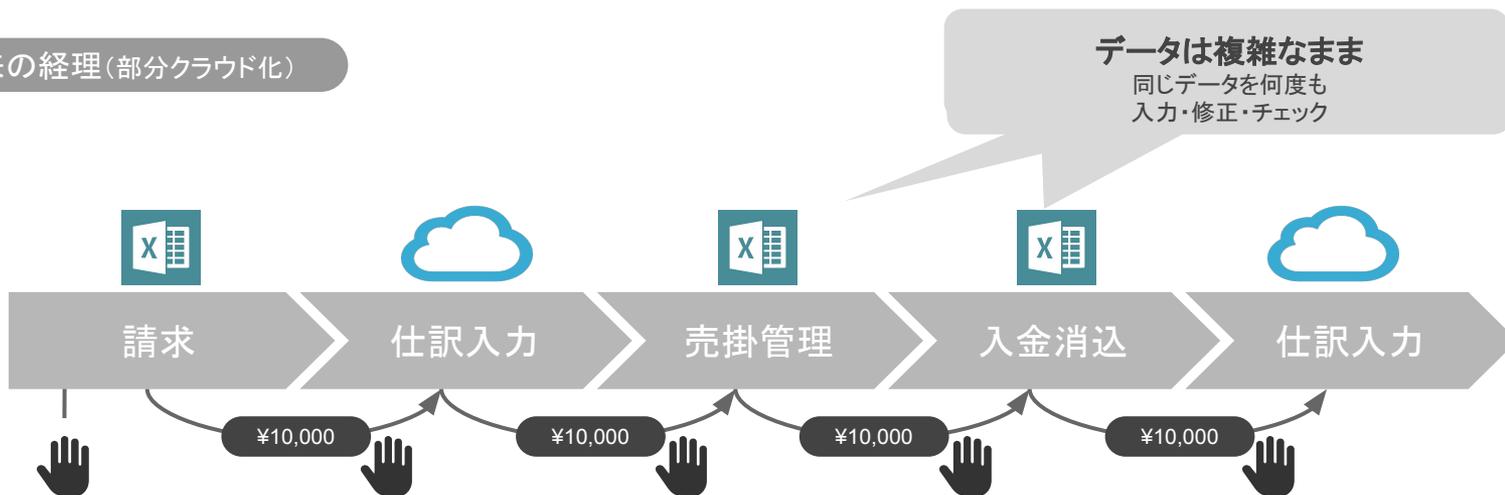
クラウド給与計算ソフト freee

一部をクラウド化しても効果は低い



- 部分的なクラウド化(効率化) はデータを一元化できず、各業務間のデータ不整合が起きやすくなり、メンテナンスコストも多重に
- 本質的な効率化には業務全体を俯瞰した全体最適の設計が必要

従来の経理(部分クラウド化)



free



クラウド完結型社会の実現



必要な業務やデータ管理を全てクラウドで完結させることで中小企業が場所は規模に関係なく生産性を劇的に改善することができる

現在



クラウド完結型社会



参考:クラウド活用の定量的効果

クラウドは生産性の課題解消に貢献



- クラウドを利用している中小企業は、そうでない企業に比べて労働生産性が高い傾向にある

中小企業の労働生産性 (付加価値 / 従業員数)

クラウド非利用企業



435万円 / 人

クラウド利用企業



474万円 / 人



出所) H25情報通信白書

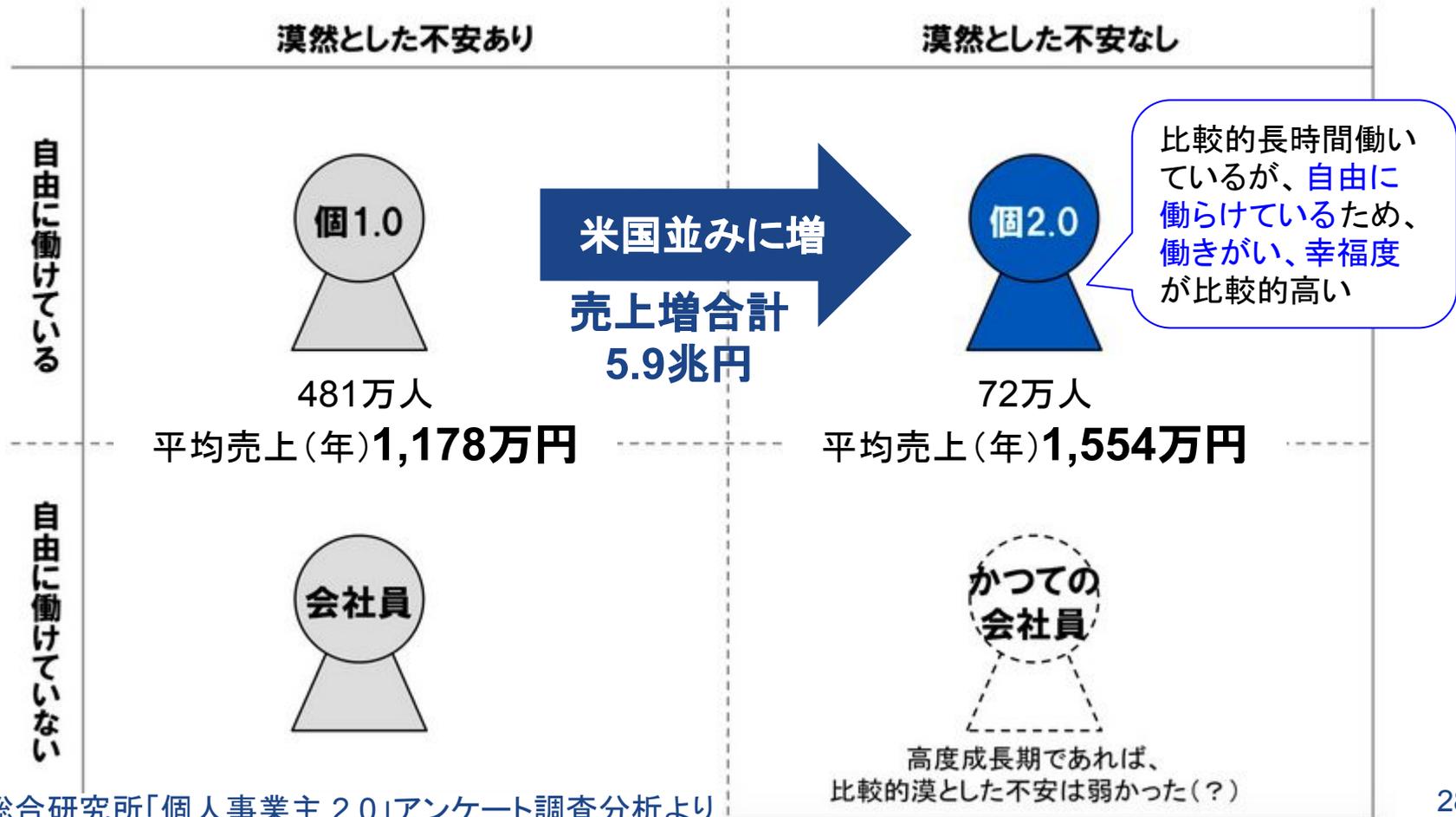
中小企業: 資本金5,000万円以下

“個人事業主2.0”の経済効果=5.9兆円



- 定義: Web・クラウドのサービスを何らか活用している個人事業主
 - EC(出店)、ネット広告、SNS、クラウド会計、クラウドPOS など

個人事業主1.0/2.0と会社員の心理マップ





スモールビジネスに携わるみんなが
創造的な活動にフォーカスできるように